

LOPEC 2025 ファイナルレポート

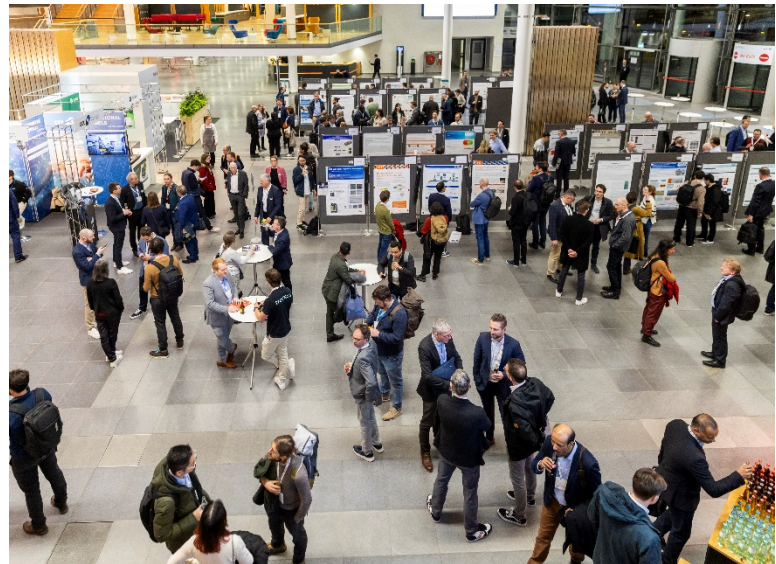
オーガニック&プリントド・エレクトロニクス産業国際見本市・会議
2025年2月25日～27日

2025年2月27日

LOPEC 2025: プリントド・エレクトロニクスは先駆的イノベーションで未来を創造

Summary

- 29カ国から約170社が出展
- ドイツ国外からの来場者が55%超
- 技術の具体的活用と市場成熟度にフォーカス



Facts & Data

会 期	見本市:2025年2月26日(水)～27日(木) 会議:2025年2月25日(火)～27日(木)
会 場	ICM – International Congress Center Messe Muenchen
主 催	Messe Muenchen GmbH – メッセ・ミュンヘン OE-A – オーガニック・プリントド・エレクトロニクス協会
規 模	4,000 m ² (2024年 4,000 m ²)
出 展 企 業	29カ国から170社 (2024年 28カ国から176社)
来 場 者 総 数	40カ国から約2,400人 (2024年 48カ国から2,400人)
主 な 出 展 品	マテリアル、コンポーネント、生産プロセス、アSEMBル・パッケージ技術、システム・インテグレーション、インスペクション・テスト・システム、デバイス、アプリケーション、サービスなど
出展日系企業 (現地法人・代理店出展含む)	味の素ファインテクノ(株)、(株)きもと、東レ(株)、ナガセケムテックス(株)、 浜松ホトニクス(株)、マイクロラフト(株) ほか
専 用 U R L	www.lopec.com (英語/ドイツ語)

LOPEC 2025 は、活気に満ちたブース、製品の先駆的イノベーション、専門家による活発な議論、ハイレベルなプレゼンテーションといった点で特徴づけられる。2025年2月25日から27日まで、29カ国から出展者約170社と来場者約2,400人が、メッセ・ミュンヘンの見本市会場(ICM ミュンヘン国際コングレスセンター)に一堂に会した。今年、フレキシブル・オーガニック・プリントドエレクトロニクスの第一級の見本市として、また世界をリードするカンファレンスとして、更にアプリケーション指向の講義セッションをも合わせて、エンドユーザーの視点を一層重視したものとなった。

主なトピックは、市場への浸透の拡大と、広範な産業で持続可能なアプリケーションを推進する上でのプリントド・エレクトロニクスの重要な役割であった。

メッセ・ミュンヘンのニューテクノロジー・ビジネス・ユニット担当エグゼクティブ・ディレクターKatja Stolleは、「振り返ってみると、非常に成功したLOPECであった。一貫して高い出展者数、製品の画期的なイノベーション、強力な国際的存在感、そして価値の高いプレゼンテーションによって、私たちは再び新しい機軸を打ち立てた」と、総括した。

エキシビション・ディレクターのArmin Wittmannは、「既存の製品をより持続可能にし、全く新しいものを生み出すこの技術の可能性について、ますます多くの産業が認識してきている」と付け加えている。



Innovation Showcase では、興味深いプロトタイプや製品イノベーションが紹介された。その中には、警告オプションを内蔵した Audi 車搭載のスマート OLED(有機 LED)リアライト、光の透過を制御しエネルギーを生成する自動車用や建物用のインテリジェント・ウィンドウ、子どもへの MRI スキャンを容易にするプリントコイル付き特殊なベストなどがある。

持続的な成長軌道にある業界

OE-A(オーガニック・プリントドエレクトロニクス協会)のマネージングディレクターKlaus Hecker氏は、「LOPEC 2025 は、フレキシブル・プリントドエレクトロニクスの世界をリードするプラットフォームであることが改めて証明された。様々な産業で高まっている環境要求を満たす新製品を目の当たりにし、プリントド・エレクトロニクスが、環境により優しく、そして循環型経済の進展に大きく貢献することを実証することができてうれしく思う」と述べ、「業界の力強い存在感と活発な議論は、この事業領域の成長の可能性を裏付けている。オーガニック・プリントドエレクトロニクスのビジネス動向に関する当方の最新調査では、この業界は上昇基調を続けており、2025年は9%の成長を遂げ、2026年には13%の経済成長が見込まれる」と評価している。

新たな特徴を備えたカンファレンス

3日間にわたって開催された LOPEC 会議では、23カ国の業界代表と研究機関による約150件のハイレベルのプレゼンテーションで専門知識を共有した。そこには、Audi社、Covestro社、Fraunhofer社、Henkel社、パナソニックインダストリー(株)、SunChemical社の講演者も登壇した。LOPECの統括責任者Wolfgang Mildner氏は、「スマート・リビングとモビリティを重点テーマとする新しいアプリケーション・セッションの設定は、今年のカンファレンスを一層ユーザー志向のものにした。これにより、来場者は見本市とカンファレンスを効率的に組み合わせて行動することができた」と述べている。



セッションの設定は、今年のカンファレンスを一層ユーザー志向のものにした。これにより、来場者は見本市とカンファレンスを効率的に組み合わせて行動することができた」と述べている。

イノベーションとネットワーキングのハブ

出展者は、自らの出展に非常に満足していた。Heraeus社のプリントドエレクトロニクス・グローバルヘッド Franz Vollmann氏は、「LOPECは、プリントド・オーガニックエレクトロニクス分野のすべての関係者にとって、材料メーカーとプラントメーカー、そ

してユーザーの3者のバランスが非常に良く、価値の高い見本市である」と、熱く語っている。スロベニアでスクリーン印刷機械の設計・製造を行っている INO 社の営業責任者 Matjaž Finžgar 氏は、LOPEC は専門家と交流し、業界を前進させる人脈を築くのに最適な場所であるとして、「私たちは、イノベーションを、生活を向上させる具体的な製品に変えるために、相応の関係者が一堂に会することで育まれるインスピレーションを大切にしている」と述べている。



電子ペーパー技術のパイオニアとして知られ、台湾に本社を置く E Ink 社の CTO Edzer Huitema 氏は、LOPEC について、「プリントド・エレクトロニクスにおける重要なイベントであり、当社の最新のイノベーションを潜在顧客に紹介し、新しいサプライヤーやパートナーとつながるための最良の場所である」と紹介している。

そのほか、Coatema 社、Elantas 社、浜松ホトニクス(株)、Henkel 社、SPGPrints 社、SunChemical 社、tesa 社など、数多くの主要企業が出展した。

数字で見る LOPEC

29カ国・地域から 169社が出展した。そのうち、約 60%がドイツ国外からの参加であり、ドイツ以外では、フランス、スペイン、アメリカ、スイスが上位に名を連ねた。また、40超の国・地域から約 2,400人が来場し、そのうち、約 55%がドイツ国外からの参加である。ドイツに次いで来場者数の多い国は、フランス、オーストリア、スペイン、イタリアであり、とりわけ、フランス、スペイン、スウェーデン、チェコ共和国、台湾からの来場者数が大きく伸びた。

次回の LOPEC は、2026年2月24日から26日(見本市:2月25日、26日)まで、ドイツ・ミュンヘンで開催される。

詳細情報並びに写真は、専用ホームページまで: <http://www.lopec.com>

資料請求、各種お問い合わせ先: **メッセ・ミュンヘン 日本代表部**
株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)